

チリ・イースター島 モアイ修復プロジェクトについての 動画を公開

株式会社タダノ（本社：香川県高松市、代表取締役社長：氏家 俊明）は、チリ・イースター島でのモアイ修復プロジェクトならびにその後のイースター島とのつながりをテーマとした動画を4月18日に公開しました。

当社が最初に本件に携わってから、すでに30年以上が経過しています。本動画は、当時を知る社員・関係者の方の貴重な証言と現地映像をもとに構成しています。前・後編あわせて40分を超える長編ストーリーとなりましたが、ご覧になった方がそれぞれに何かを感じていただけますと幸いです。

動画

イースター島モアイ修復プロジェクトがつないだ絆

前編（24分）：<https://youtu.be/fLpHavN6Prk>

後編（18分）：<https://youtu.be/XLULB5ckEXI>

イースター島モアイ修復プロジェクトの軌跡

Preview（5分）：<https://youtu.be/tE3Z9Td-p0Q>

経緯

「クレーンがあれば倒れたモアイ像を起こせるのに」。イースター島の知事が日本のテレビ番組の取材で発した一言がきっかけで、タダノは1991年から「モアイ修復プロジェクト」に取り組み、イースター島へラフテレーンクレーンを寄贈。チリ政府や考古学者などの協力のもと、1995年、世界遺産である「アフ・トンガリキ」にある伝説のモアイ像15体が祭壇の上に再び立ちました。

その後もイースター島とタダノとの友好関係は継続しており「クレーンが壊れた」との知らせを受け、2005年には2台目となるラフテレーンクレーン（TR-600XL）を寄贈しました。

それから14年が経過し、2019年、タダノは創業100周年を迎えるにあたり、チリ・イースター島との関係を今後も大切に、さらなる島の発展に役立てていただくため、イースター島へ3台目のラフテレーン（GR-1000XL）を寄贈しました。寄贈したクレーンは、島の人々の生活を支える大切な機械として、生活物資の運搬やインフラ開発などに使用されています。私たちタダノは今後もイースター島とのご縁を大切にしていきます。

年表

1988年11月	日本のテレビで当時のイースター島知事より「クレーンがあればモアイ像を起こせるのに」のメッセージが放映。それを見た社員が、クレーンの寄贈を社長に上申。
1990年10月	駐日チリ大使を訪問。
1991年4月	モアイの模刻を製作し、吊りテストを実施。（高さ約4m、重さ約11トンの実物大模型）
1991年10月	第一回調査団を派遣。
1992年2月	モアイ修復委員会を奈良で発足。（委員長/鈴木嘉吉/前奈良国立文化財研究所所長）
1992年4月	イースター島で日本・チリ考古学者が共同学術調査。
1992年8月	アフ・トンガリキ遺跡の修復・再建に関して、チリ国立遺跡審議会の許可を受諾。
1992年9月	クレーン・修復資材・発掘機材をイースター島に搬入。（使用後、全て寄贈/1台目）
1992年10月	世界5カ国の考古学者・専門家の指導のもと、発掘調査に着手。 （イースター島島民にクレーン操作等を指導）
1993年3月	社長（当時）の多田野久がチリ・イースター島を訪問。ベルナルド・オ・ヒギンズ・コメンタール賞を叙勲。

1993年3月	発掘調査がほぼ完了。(約1000平方メートル) 続いてアフ(祭壇)の再建に着手。
1993年5月	日本考古学協会にて本プロジェクトの中間報告を実施。
1993年7月末	アフ(祭壇)の再建がほぼ完了。(長さ98m、幅6m、高さ3~4m)
1993年8月中旬	モアイ像二体を立てた。(高さ5.8メートル、重さ42トン) イースター島島民にモアイ像建立の方法を指導。
1995年5月	アフ・トンガリキ遺跡の整備が完了。 (樹脂を用いて首と胴を接合処理後、15体のモアイ像が再建)
1996年9月	祭壇の両翼(各50メートル)石組みが完了。 
1996年11月	モアイの模刻を高松市へ寄贈。(翌年、高松市女木島に設置)
2003年11月	当社サイトにイースター島から1通の電子メールが届く。 「寄贈してもらったクレーンが故障しているので助けて欲しい」
2004年5月	現状確認のため社員を派遣。
2004年11月	駐日チリ大使を訪問し、再度のクレーン寄贈を申し入れる。
2004年12月	駐日チリ大使より寄贈受諾書を受け取る。
2005年9月	寄贈先が第五州政府に決定。(第五州政府がイースター島を所管)
2005年11月	横浜港で寄贈するクレーンを船積みし、チリへ向けて船出。
2006年1月	クレーンがチリに到着(バルパライソ港)。社員を派遣し、海軍への引き渡し等協力各機関との調整を行う。
2006年3月	クレーンがイースター島に到着。現地の人にクレーンの操作、維持・管理方法を指導。
2006年4月	社長(当時)の多田野宏一がチリ・イースター島を訪問。アフ・トンガリギにて寄贈式典が開催される。 
2006年6月	アフ・トンガリギに記念プレートが立つ。
2010年3月	チリ地震の発生に際し、チリ政府にブームトラック(TM20110×2台、TM35100×1台)を寄贈。
2019年12月	創業100周年記念事業の一環として3台目のクレーンの寄贈を、駐日チリ大使をお招きして対外発表。
2022年1月	クレーンがイースター島に到着。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タダノ 総務部 広報・広宣 G

TEL : 087-839-5601

以上